



太宰府天満宮大駐車場から五条交差点に進んで右側にあり

神牛塚の由来

昌永4(901)年正月、太宰府に流された菅原道真(菅公)は、延喜3(903)年2月25日に現在の榎社で亡くなった。

菅公の遺言により亡骸は太宰府の地に埋葬されることになり、亡骸を車に乗せ、牛に引かせ太宰府のはずれまで来たところ、急に牛が動かなくなった。これは菅公の思し召しであろうとその場に葬ったのが、現在の太宰府天満宮本殿の場所であると伝えられている。そして、その帰り道、車を引いていた牛もこの場所で倒れ息を引き取ったということである。憐れんだ人々はそこに牛を葬り、塚を建て供養したのが神牛塚と伝えられている。

<神牛塚案内版より>

